



Woodist Report

ウッドィストのたより

上天草市松島庁舎の1階部分。集成材の柱・梁によって広い事務室空間を実現している

木造のオフィス

これまで木造といえば住宅が中心でしたが、最近では技術の進歩とともに、木造建築の耐久性・耐火性・耐震性が増し、住宅以外の大型建築に木材を使う動きが出てきています。

都市の中心に木造のオフィスビルが立ち並ぶ未来もそう遠くないのかもしれませんが。



上天草市松島庁舎兼保健センター

地域性を活かした木造庁舎



右が松島庁舎、左が保健センターとなっている。上天草市でみられるイルカをイメージした建物

熊本県の南西に位置する天草諸島の上天草市松島町に、庁舎建築としては全国初の木造3階建て（一部2階建て）の松島庁舎兼保健センターが完成しました。上天草市は大矢野庁舎と松島庁舎の2庁舎方式を採用しており、5月7日から新庁舎で、建設部、市民生活部、健康福祉部などが業務を行っています。

山佐木材株式会社



上天草市松島庁舎兼保健センター

設計：株式会社 太宏設計事務所様
 施工：A棟／小竹・山口特定建設工事共同企業体様
 B棟／吉永・植野特定建設工事共同企業体様
 所在地：熊本県上天草市松島町
 構造：木造3階建て（一部2階建て）
 延床面積：3,253.51㎡



庁舎と保健センターは2階の渡り廊下でつながっている



柱は最大580mm×580mmのスギ集成材を使用

松島庁舎の工法には、庁舎建築で多くの実績がある三井住商建材(株)様の「サミット HR 工法」(木質二方向ラーメン構造)が採用されました。この工法では、鉄筋コンクリート (RC) 造や鉄骨 (S) 造と同等の柱割りが可能で耐震性に優れており、従来、RC 造・S 造で計画されていた建物にも木造の良さを活かすことができます。

また、松島庁舎の木材使用量は構造材・内装材合計すると1,070㎡ですが、地域材で供給するために「天草地域材の円滑供給推進会議」(地元木材業5社1団体)が結成され、地元で製材・加工したスギ・ヒノキが使用されています。柱や梁にはスギの構造用集成材(柱で最大580mm×580mm、梁で225mm×1,200mm)が用いられ、山佐木材でA棟の柱・梁、及びB棟の柱を製造・加工しております。

高い耐震性により地域の防災拠点としての役割を担うことができ、地域材利用は地域経済の活性化に繋がります。また、住民が多く利用する施設であり、木の温かみや香り、肌触りは人を癒す効果も期待できます。

現在、鹿児島県霧島市の横川総合支所新庁舎建設工事(設計：(有)下舞建築設計事務所様、施工：鎌田建設(株)様)が進められています。こちらの庁舎は、山佐木材で集成材の製造・加工および建て方を担当させていただいており、6月28日から建て方が始まりました。



(株)中九州クボタ本社物流センター (会議室・研修棟)

社の精神を形にした研修棟

設計：IGA建築計画様
 施工：株式会社 佐伯建設様
 所在地：熊本県菊池郡大津町
 構造：木造平屋建て
 延床面積：620㎡



「稲穂」と名付けられた会議室・研修棟



研修スペースとして使用。仕切って会議室としても使用できる

(株)中九州クボタ様は、農業機械の販売・整備を行っていらっしゃる会社です。平成25年2月の本社移転にあわせて、本社敷地内に会議室・研修棟「稲穂」を建てられました。外観は白壁に焼き杉をあしらった和風モダンな建物です。内装には壁に稲穂を使用する等、同社の基本理念である「活人稲穂」へのこだわりが感じられます。

こちらも三井住商建材(株)様のサミット HR 工法で建てられており、広い木造空間を実現しています。山佐木材で、柱・梁のスギ集成材の製造・加工および建て方を担当いたしました。

特集 木造のオフィス

「公共建築物等における木材の利用の促進に関する法律」が平成 22 年 10 月 1 日に施行され、国内においても中層・大規模木造建築物への木材の利用促進が図られています。

国内資源を活かす木材の利用促進は林業や木材産業の活性化だけでなく、二酸化炭素吸収の役割を持つことから、環境問題とも密接した重要なテーマとなっております。海外で躍進を遂げている CLT (クロスラミネーティドティンバー) は、これまでにないスピードで国内に規格化の流れを生み出しています。耐火や構造の問題も多くあり、法改正を要する部分は一朝一夕にはいきませんが、現行法規上まずは実用化出来そうな床材利用への動きが活発になりそうです。

本頁では、その新商品として集成材厚板パネルと CLT そして新しく設立する研究会についてご紹介します。

取締役製造部長 村田 忠



種子島のせいざん病院様で使用した集成材厚板パネル
(厚み 120mm × 幅 800 mm × 長さ 6m)

国産集成材厚板パネル(日本集成材工業協同組合=日集協)

このたび、日集協では国産集成材厚板パネルを用いた木造床組構法で 1 時間準耐火構造の国土交通大臣認定を取得しました。

このパネルは、集成材(同一等級構成集成材)を横にした形で使用するもので、曲げ応力を受ける方向とラミナの積層面が平行になるようにして使用します。樹種は、スギ、ヒノキ、カラマツ、トドマツ、アカマツの 5 樹種で、厚み 90 mm 以上、幅 450 ~ 1200 mm、長さ 910 ~ 8000 mm までが規格になります。

弊社でも「2013 年冬季 ウッディストのたより 14 号」にて、同じような方法で、せいざん病院様の床にスギ集成材を使用した事例を紹介させていただきました。認定取得により、これまで以上に幅広い用途に使用されることを期待します。

CLT Cross Laminated Timber

現在国内では、「直交集成板の日本農林規格」として制定する動きがあり、7 月 12 日をもってパブリックコメントの募集が締め切られました。これからは、製造マニュアルなど技術的な基準が整備されていくこととなります。弊社でも新規 CLT 生産ラインの検討を進めております。(最大幅 2m × 長さ 8m を予定)

JAS 化によって、まずは床材としての実用化が可能だと考えられています。CLT の早期普及を目指して、寸法の規格化、基準強度の問題など設計及び建築関係者との情報交換、連携を進めて参りたいと思います。CLT に関するご意見、お問い合わせをお待ちしております。



『超高層ビルに木材を使用する研究会』設立に向けて

5 月 13 日、福岡大学工学部において「超高層ビルに木材を使用する研究会」の設立準備委員会が実施されました。超高層ビルの設計実務に携わってこられた福岡大学工学部の稲田達夫教授のご提唱によるもので、九州内の研究者実務家などの参加者から「意外な盲点」と高い関心呼びました。当面は九州内での活動になるかと思いますが、もしご関心がお有りのときには下記事務局にお問い合わせください。入会申込書を送付いたします。

設立総会・講演会は、今年 10 月頃、福岡市で行われる予定ですので、決まり次第、会員の方にお知らせいたします。

超高層ビルに木材を使用する研究会事務局(山佐木材(株)総務経理部)
メール: y-soumu@woodist.co.jp
会費: 年間 2,000 円(個人会員)、20,000 円(法人会員)



5 月に福岡大学で行われた設立準備会議の様子



建物へのホウ酸表面処理(ボロンdeガード工法)によるシロアリ対策

4月から、一般社団法人日本ホウ酸処理協会（JBTA）に加盟し、ホウ酸施工士によるボロンdeガード工法を始めました。使用薬剤の「ティンボア PCO」は、日本木材保存協会の木材防腐・防蟻剤の表面処理用木材保存剤として認定されており、長期優良住宅にも対応しています。人体には安全性が高く、かつ既存の薬剤と違い揮発分解しないため効果が持続するという利点があります。

ボロンdeガード工法は、このティンボア PCO の濃厚溶液を使って、ホウ酸施工士が責任を持って『自分の家のつもりで』心を込めて塗布施工します。保証制度も充実しています。

新築、既存問わず、建物の防腐防蟻対策にいかがでしょうか。（村田）
～「シロアリはホウ酸でやっつけなさい！」（著：荒川民雄氏）好評発売中！～



床下での塗布施工の様子を室内のテレビに中継しました

働きもつき高次加工センターが鹿児島県中小企業団体中央会より優良組合として表彰されました

5月24日、鹿児島県中小企業団体中央会の第58回通常総会にて、理事長である佐々木幸久（山佐木材㈱代表取締役）が受賞者を代表して謝辞を述べさせていただきました。その謝辞文面を掲載いたします。

この度の表彰、誠にありがとうございました。日々厳しい経営環境の中で取り組んでいる私どもにとって、この表彰は大いなる励みであり、心から御礼申し上げます。

経営環境の変化は日々々々驚くほどであります。私ども中小企業は身の軽さが身上、試練を教訓にこの変化に対応しつつ前向きに取り組んで参りたいと存じます。

この受賞を機に、組合員の力を結集し、新たな気持ちで取り組み、参加組合員の幸せと、県下経済の発展に寄与したいものです。今後ともよろしくご指導をお願い申し上げます。

終わりに、中央会ならびに会員組合の今後ますますのご発展と、本日も臨席の皆様方のご健勝を祈念いたしまして、お礼の言葉と致します。



受賞者を代表して謝辞を述べさせていただきました
左は中央会の小正芳史会長（小正醸造㈱代表取締役）

山佐木材のホームページをリニューアルしました

5月17日、当社のホームページ <http://woodist.co.jp> を約10年ぶりにリニューアルいたしました。

今回のホームページは、山佐木材の最新情報をタイムリーに掲載し、広く弊社のことを知っていただくことを目指しています。施工実績などの写真を多めに掲載し、読みやすいページ作りを心がけました。より多くの方に見ていただけるよう、スマートフォンにも対応しています。

今後、内容を充実させていく予定ですので、以前のホームページと同様、どうぞよろしくお願いいたします。

集材材・木造建築に関するお問い合わせは…

Woodist® 山佐木材株式会社

〒893-1206 鹿児島県肝属郡肝付町前田 972 番地
TEL0994-31-4141 FAX0994-31-4142
<http://www.woodist.co.jp/>



Woodist

山佐木材株式会社

〒893-1206
鹿児島県肝属郡肝付町前田2090
TEL：0994-31-4141
FAX：0994-31-4142
[交通アクセス](#)
[メールによるお問合せ](#)

山佐木材のホームページにアクセスしていただきまして、ありがとうございます。平成2年に国内初のJASスズキ構造用集材材の認定を受けてから20年余り、私たちの手で木造躯体部分の製造から加工・現地建て方まで施工させていただいた公共施設や民間施設は1000件近くになりました。今後ともさらに新しい技術、工法に取り組み、お客様に信頼され、安心してお任せいただける物づくりに励んでまいります。

News

2013年4月6日（土）日刊木材新聞より
『1時間準耐火の大臣認定取得予定 集材材厚板床パネルで』
日本集材材工業協同組合（日集協）は近く、集材材厚板床パネルで1時間準耐火の大臣認定を取得する。1月に耐火性能評価試験を実施し、合格基準を満たしたため、（財）ベターリビングから3月12日付で評価書が交付された。試験体には杉が用いられたが、評価範囲は比重が杉以上のトド松やカラ松、アカ松で申請する。

Topics

5月17日 ホームページをリニューアルしました



「山佐木材」で検索してください！ブログも書いてます